硫 黄 鳥 島

○ 火山活動評価：静穏な状況

22 日に行った観測では、従来から見られていた少量の噴気が認められた程度で、火山活動に特段の変化はありませんでした。

○ 概況（図１、図２）

22 日に気象庁長崎海洋気象台が行った海上からの観測で、島の北側に位置する硫黄岳火口で少量の噴気が連続的に確認されたほか、島の中央部に位置するグスク火山火口でもごく少量の噴気が時々確認されました。これらの噴気の状況は、前回の観測時（2007 年１月 26 日）と比べて特段の変化はありませんでした。

図１　硫黄鳥島　南西側から見た硫黄岳
（４月 22 日撮影）

図２　硫黄鳥島　東側から見たグスク火山
（４月 22 日撮影）

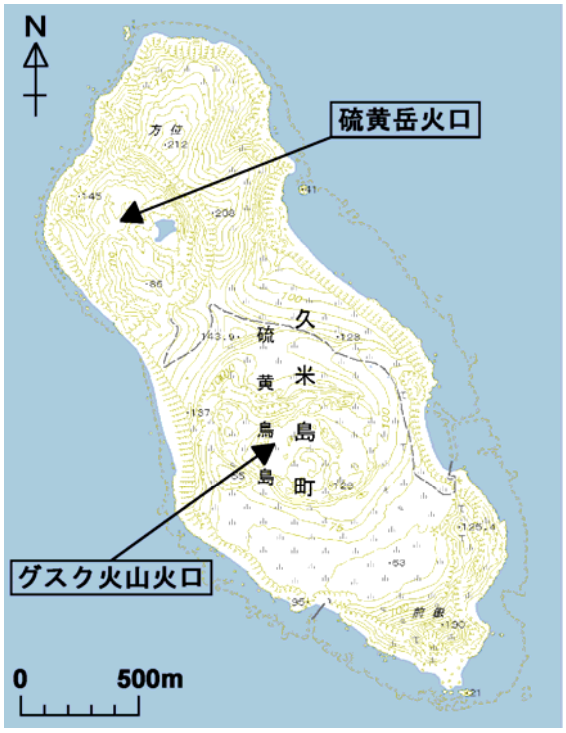

図３　硫黄鳥島　火口の位置図

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』を複製したものです（承認番号：平 17 総使、第 650 号）。